



交通安全教室 5/25

隅照燈

その立場立場でなくてはならぬ人になる

発行
平戸市立平戸小学校
文責 校長 永田健治

児童数 314名
教職員数 37名

創立152周年



発行：平戸市立平戸小学校 〒859-5121 平戸市岩の上町1509番地 TEL：0950-22-9230
E-mail：hirado-es@hirado.ed.jp ホームページ：「平戸市立平戸小学校」で検索



6月19日（金）開催 長崎っ子の心を見つめる教育週間 杉野先生の講演会

今年の梅雨入りはそろそろでしょうか？

5月19日（火）から実施した個人面談では、お子様に関する情報共有ができました。今後の支援・指導の参考にさせていただきます。

心も満タんに

5月20日（水）から読み聞かせがスタートしました。今年度は保護者15名、地域の方7名のボランティアの皆様にご協力いただいています。



子供たちは、様々なジャンルの絵本の読み聞かせに、目と耳と心で聞き入っていました。エプロンシアターでは子供たちの笑顔がいっぱいでした。



本校の主な取組としては①校長講話②道徳授業の公開③地域・保護者との連携です。



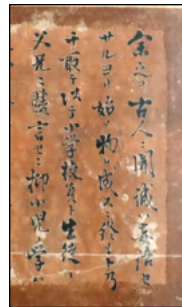
読み聞かせは、ことばと心を育てる大切な時間です。

長崎っ子の心を見つめる教育週間

本校では、6月15日（月）～19日（金）を長崎っ子の心を見つめる教育週間に設定しています。

特に③の取組として、6月19日（金）授業参観の日にPTAとの共催による講演会を行います。講師は、杉野先生です。講演の前半は4～6年生も一緒に学びます。

松の苗木に例えて



「余之ヲ古人ニ聞ク」に始まる古い書画（明治22年）が校長室に飾られています。剥がれやひび割れのある力強い漢文訓読の体で書かれており、校長就任3年間の、何と書かれています。ふと、AIの力を借りたら解明できるか



「子供の教育における、家庭の役割の重要性」を松の木に例えて説いた文でした。「私はこれを昔の人から聞いたが、本当に大切な教えである。物事を始めてから成し遂げるまでの間、小学校の生徒たちや、その父親・兄たちに告げ、論じた言葉がある。そもそも、子供の学びというものは、「最初に受ける教え」が最も重要である。だからこそ、「家庭」で行う教育は、学校での教育よりも二倍も重要（影響が大きい）なのだ。心を込めて教え諭し、子供が本来もっている善良な性質を尊び、それぞれに適性に応じた才能を伸ばしてやれば、必ず（素晴らしい結果を）期待できる。あの松の木を見てごらんなさい。雨や露の恵み（正しい養育）を得れば、

ば、根も幹もがっしりと力強く育つ。もし、天高く伸びようとする（松の）性質をそのまま全うさせてやれば、将来、家を支える「棟梁（立派な人材）」の器になることは間違いない。しかし、これとは逆に、もし正しい育て方をせず、さらに（成長を邪魔する）余計な枝や頑固な岩などの障害があれば、（まっすぐ育たずに）ぐにやぐにやと曲がってしまうだろう。（…後略）この文は子供を「松の苗木」に例えています。良い環境（家庭での正しい教育）で育てばまっすぐ天に向かって伸び、将来は社会や家を支える立派な「棟梁（大黒柱）」になる。悪い環境（間違った教育）で育てばねじ曲がった木になってしまう。家庭を「学校」に置き換えて読み直し、子供の教育に大人が関わることの大切さと責任を改めて実感しました。

